

当社ホームページがさらに使いやすくなりました。

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に向けて、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しております。

2009年3月には、より使いやすくするために、ご利用される方の視点に立ち、サイトをリニューアルしました。今後もホームページを通じて積極的に情報を発信してまいりますので、当社へのご理解を深めていただくためにも、是非アクセスしてください。

<http://www.carenet.co.jp>



ポイント1

文字の切り替えボタンを新設しました。
ご利用される方によって文字の大きさを切り替えられるボタンを新たに加えました。

ポイント2

株主の皆様からのご要望の高い情報を充実させました。
株主の皆様からのご要望の高い、「株式情報」や「配当状況」についての情報を充実させました。

ポイント3

用語集へのアクセスを容易にするメニュー構成にしました。
株主の皆様には是非ご理解いただきたい当社の事業に関する用語集へのアクセスが直感的にできるよう、トップページのメニューに加えました。



「IRニュースメール」によりタイムリーな情報を提供しています。是非ご登録ください。

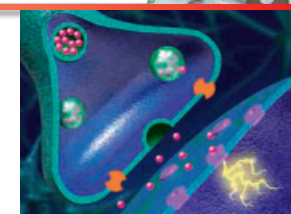
Business Report 2009



株主通信

第14期 決算のご報告

2008年4月1日~2009年3月31日



医学に、もっと\ワッワッ/を!



株式会社ケアネット

〒113-0033 東京都文京区本郷四丁目37番17号 大間ビル
TEL.03-6801-0111 (代表) FAX.03-6801-0131





代表取締役社長
高橋 功

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第14期(2008年4月1日～2009年3月31日)における株主通信をお届けするにあたり、当期の事業の概況などについてご報告させていただきます。

Q まず最初に、就任にあたっての抱負をお聞かせください

激変する医療環境の中で、不安の少ない情報環境づくりに貢献したい

このたび、代表取締役社長に就任いたしました高橋です。皆様、どうぞ宜しくお願いいたします。

医薬・医療の世界に従事してきた27年間、診療の現場で役立つ情報を提供することを常に心がけてまいりました。患者さんの命を預かるドクター、そしてドクターを介して情報やサービスが提供される患者さんのことを思うと、「医療に携わり、特に情報をお届けする

ケアネットのビジョン

ケアネットは、医学・医薬のエビデンスの普及、知識・経験の共有を通じて、患者さんがより質の高い医療を効率よく受けられる社会の実現に貢献する企業であり続けます。

ケアネットの企業スローガン

医学に、もっと「ワクワク」を!

多忙な医療界の方々に「ワクワク」していただけるような情報を、私たちも一緒に「ワクワク」しながら編集して、「コンパクト」かつ「スピーディー」に、そして「楽しく」お届けしたい。このような情報提供活動を通じて、患者さんのためのより質の高い医療の実現に貢献する企業でありたいと願っています。

私たちが取り扱う内容はより適切であるべき」と考え、取り組んでおります。

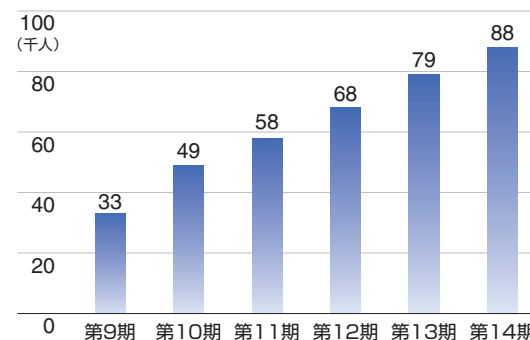
昨今の医療現場は、医師不足や救急医療の課題をはじめとして、「希望的」改善を求めるものが多い状況です。そんな環境でドクター・患者さんが尊重されているビジネスを最大限拡げていくこと、医療に関する課題解決に1つでも多く貢献できる企業となること。これが私の社長就任にあたっての抱負です。

Q 第14期の業績について、概要をお聞かせください

来期以降の成長が期待できるサービスの開発を進めた1年

まず、製薬企業向けのサービスである医薬営業支援サービスについてですが、主力サービスの「eディテリング®」の売上高が987百万円（前年比10%減）となりましたが、新サービスである「レジストリス

■ 医師会員数の推移



テーション®」の販売開始により、全体で1,757百万円（前年比20%増）となりました。

マーケティング調査サービスは、増収を期待できるマルチクライアント型データ販売事業の開発に経営資源を投入した影響と、業界全体でのインターネット調査単価の低下もあり、売上高は449百万円（前年比34%減）となりました。

医師向けサービスである医療コンテンツ事業については、医師会員数が順調に増加し2009年6月に9万人を突破いたしました。もうひとつの医師向けサービスTV・DVDの売上に関しましては、薬剤師やMR（製薬企業の営業担当者）向けDVDの販売を開始するなどの新しい取り組みを行ってまいりましたが、442百万円（前年比6%減）となりました。



Q 製薬企業向けのサービスにおいてはどのように取り組んでいきますか？

環境変化に対応できる、ニーズを捉えたサービスを投入していく

ケアネットを取り巻く環境の変化として、2010年問題があります。

これは、2010年を中心として製薬企業の大型「先発薬」（新薬）が特許失効により廉価な「後発薬」（ジェネリック医薬品）に代替される影響と、新たな収益の柱となる新薬に欠けることで製薬企業の収益が圧迫されることが懸念されている問題で、既に医薬品業界はその渦中にあると考えています。

製薬企業はその問題を解決するために、新薬の開発を急ぐ、あるいは買収・合併による新薬候補の獲得を行うなどといった対策に取り組んでおり、従来以上に投資資金が必要となっています。また後発薬普及の推進により、特許期間内の利益の最大化が求められ、コストを抑えたマーケティング・営業方法のニーズが高まっています。

す。これまで多くのMRを投入し右肩上がりに伸びてきた医薬品業界は、今、従来の営業活動を見直す時期にあると考えています。同時に、多忙な医師に対して限られた時間の中でコンパクトに情報を伝えるニーズが高まっており、医師の視点に合わせた情報提供プロセスの効率化を進めています。

私どもの主力サービスである「eディテリング®」「eリサーチ™」は今後も引き続き製薬企業のニーズに応えられるものと考えておりますが、昨今の医薬品業界の経営環境下でいっそう役立つサービスとして、医師間症例共有システム「レジストリーステーション®」、がんの治療実態の全国調査「OncoJ（オンコ・ジェイ）」を開発し、第14期にリリースすることができました。

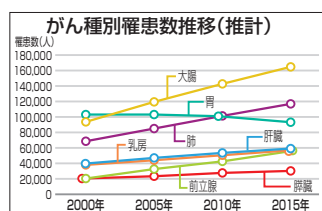
第15期については、医薬営業支援サービスの「eディテリング®」「レジストリーステーション®」を収益の柱として、拡販していく所存です。



「レジストリーステーション®」は、ケアネットが行う特定医薬品の処方経験調査の結果を、全国の医師間で共有しリアルタイムに統計解析結果を閲覧できる調査支援システムです。処方経験を入力した結果や全国の統計値がグラフなどで視覚的に表示されるため、全国統計値との比較などを簡単に行うことができ、日々の治療に役立てていただいております。



わが国民の死因の第1位は「がん」であり、がんによる死亡者は年々増えています。また、製薬企業の新薬の開発品目数でも、がん領域が最も多くなっています。そこでケアネットは、国内最大規模となるがん治療実態に関する調査を定期的実施し、様々な切り口で医師の処方傾向や潜在ニーズ等を分析できるデータとして販売し、主として製薬企業にご利用いただいております。



Q 医師向けのサービスではいかがですか？

医師に選ばれる存在となっていく

当社が運営する医師・医療従事者向け会員制サイト「CareNet.com」の会員数は、医師の会員実数が約9万人と年1万人のペースで順調に増えております。また、国内唯一の医療専門チャンネル「CareNetTVメディカルCh®」は1998年7月の開局以来、おかげさまで4,000以上の番組を放送し、出演いただいた医師数は1,400人以上となり、多くの医師の支持をいただきながらここまで大きくなりました。

しかし、私どもを支持してくださる医師を取り巻く環境にも大きな変化が起こっています。医療制度改革が推し進められる中で、医師は従来以上に制度の変化に対応し新しい治療法を取り入れ、質の高い医療サービスを提供するために日夜努力をされています。そんな方々に選ばれるため、私どもが提供する情報やその提供方法も進化していく必要があると考えています。

忙しい医師に必要な情報は何か。私は、ケアネットが提供するコンテンツはより実践的で役に立つものであることが大事であると考えています。「CareNetDVD」はその一つの形の表れですが、第14期に「CareNet.com」内でリリースしたコンテンツ「実践！化学療法」は、がん治療の最前線で活躍されている医師の「あったらいいよね」という現場の声を基に企画した、従来にはない形の実践的な内容となっています。第14期から「実践！化学療法」をはじめとして、医師に選ばれるコンテンツ作りに取り組んでまいりましたが、第15期はさらにそのような声を積極的に形にしていく予定です。

医師向けサービスに対する投資を増やし、提供する情報とその情報の提供方法を進化させることで、多くの医師から高い支持を受け、いずれその支持の上に大きなビジネスという果実をもたらしてくれると考えています。



がん治療に携わっている医師・医療従事者へ向けて、抗がん剤治療に役立つ実践的な情報をお届けするWebコンテンツです。総監修にがんの薬物療法の第一人者である癌研有明病院の島 清彦先生を迎え、複数のがん専門医のヒアリングをもとに、医療現場の視点に立った実践的な情報ニーズに応える内容となっています。



Q 葦の会との業務提携について説明をお願いします

医療の「地域連携」の中で新しいビジネスモデルを

医療の現場でも医療制度改革の大きな流れの中で様々な変化が見られています。そんな中で私どもが特に注目しているのは医療における「地域連携」の流れです。医薬品業界においてもこの潮流の変化でドクターの行動が徐々に変わりつつありますが、明快な解決策はなかなか見つかっていないのが現状ではないでしょうか。

今後、地域の中核病院を中心として診療所との患者管理ネットワーク作りが構築され、それぞれの役割分担が進むと考えています。そうした動きが進むと、それぞれに必要とされる情報も異なってくるはずで、役割に合ったきめ細かな情報を提供することがドクターに選ばれる重要なポイントであると考えており、そのような取り組みを一緒に検討していくパートナーとして株式会社葦の会と業務提携を行いました。



地域の有力医薬品卸9社が共同で運営している株式会社葦の会は、ドクターへの情報伝達をより地域に密着した形で行うことを目指している会社です。有力医薬品卸がお持ちの高い地域カバー率とリアルなネットワーク、そして私どもが持つインターネットを活用したサービスとコンテンツ制作力を組み合わせることで、医師・医療従事者の皆様に“選ばれる”情報提供モデルの構築を目指していきます。

特に、大きな節目にある製薬企業にとって今までにない形の医薬品情報提供モデルとして、2年後3年後に新しく大きなビジネスになるよう育てていきたいと考えています。

<ul style="list-style-type: none"> ● 診療所開業医データベースの構築・整備 ● 「ケアネット・ドットコム」会員の獲得 ● 新しい医薬品営業支援サービスの開発 ● 診療所開業医向け新規事業開発 	ケアネット ・「ケアネット・ドットコム」医師会員数 約9万人 ・インターネット中心の情報提供
	葦の会 (出資卸 9社) ・MS※数 約4,500人 ・日本全国の診療所開業医と強固な関係 ※MS: 医薬品卸会社の営業担当者



【写真①】当期販売を開始したDVD



【写真②】個人投資家向け説明会の模様

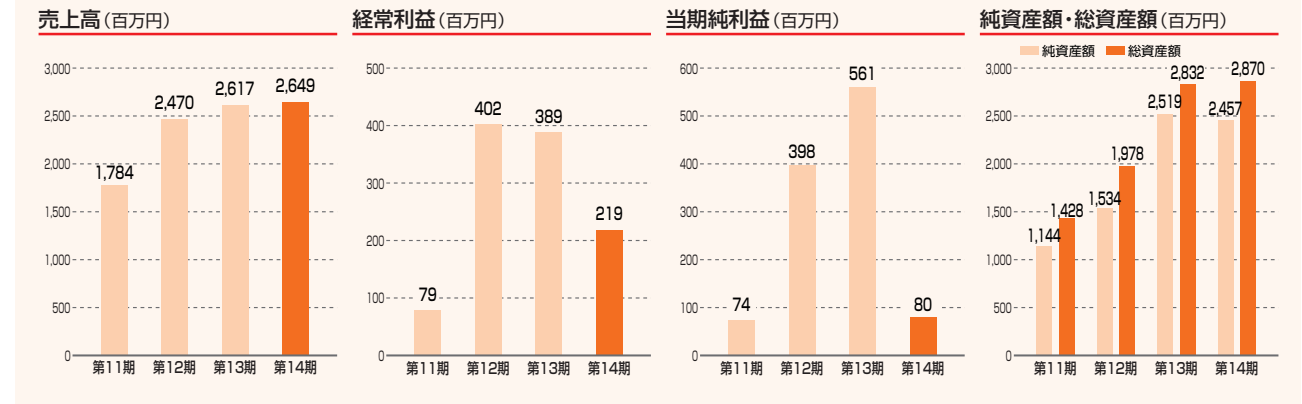
貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科目	当期 (2009年 3月31日現在)	前期 (2008年 3月31日現在)
〔資産の部〕		
流動資産	2,563,607	2,619,560
現金及び預金	1,989,735	1,958,197
売掛金	424,267	358,613
製品	18,268	12,146
仕掛品	23,373	21,490
前払費用	17,555	87,343
繰延税金資産	67,637	175,204
その他	22,799	6,596
貸倒引当金	△29	△31
固定資産	307,034	213,081
有形固定資産	36,793	23,487
無形固定資産	216,099	131,931
投資その他の資産	54,140	57,662
資産合計	2,870,641	2,832,642

(単位：千円)

科目	当期 (2009年 3月31日現在)	前期 (2008年 3月31日現在)
〔負債の部〕		
流動負債	413,274	313,478
買掛金	152,176	111,310
未払金	108,394	54,134
未払消費税等	—	13,923
未払費用	40,706	24,858
未払法人税等	7,922	8,964
前受金	82,111	84,353
預り金	21,962	15,934
負債合計	413,274	313,478
〔純資産の部〕		
株主資本	2,456,099	2,518,824
資本金	587,893	587,830
資本剰余金	892,455	892,392
利益剰余金	975,749	1,038,600
新株予約権	1,267	340
純資産合計	2,457,367	2,519,164
負債純資産合計	2,870,641	2,832,642



損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	当期 (自2008年4月1日 至2009年3月31日)	前期 (自2007年4月1日 至2008年3月31日)
売上高	2,649,356	2,617,333
売上原価	1,430,297	1,354,972
売上総利益	1,219,058	1,262,361
販売費及び一般管理費	1,005,449	860,976
営業利益	213,609	401,384
営業外収益	6,251	6,631
営業外費用	187	18,428
経常利益	219,673	389,588
特別利益	—	26
特別損失	27,761	16
税引前当期純利益	191,912	389,597
法人税、住民税及び事業税	3,800	3,800
法人税等調整額	107,567	△175,204
法人税等合計	111,367	△171,404
当期純利益	80,544	561,001

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

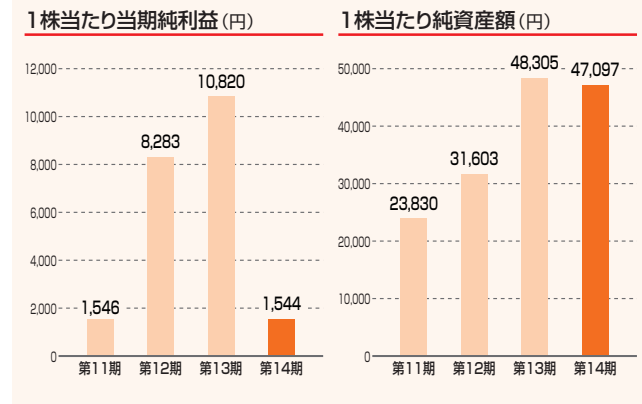
(単位：千円)

科目	当期 (自2008年4月1日 至2009年3月31日)	前期 (自2007年4月1日 至2008年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	293,810	189,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,368	△574,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137,903	406,560
現金及び現金同等物の増減額	31,537	21,658
現金及び現金同等物の期首残高	658,197	636,538
現金及び現金同等物の期末残高	689,735	658,197

株主資本等変動計算書(要旨)

当期(自2008年4月1日 至2009年3月31日) (単位：千円)

	株主資本			新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金		
2008年3月31日残高	587,830	892,392	1,038,600	340	2,519,164
事業年度中の変動額					
新株式の発行	63	63	—	—	126
剰余金の配当	—	—	△143,396	—	△143,396
当期純利益	—	—	80,544	—	80,544
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)	—	—	—	927	927
事業年度中の変動額合計	63	63	△62,851	927	△61,797
2009年3月31日残高	587,893	892,455	975,749	1,267	2,457,367



■ 会社概要 (2009年3月31日現在)

社名 株式会社ケアネット
 所在地 東京都文京区本郷4-37-17 大間ビル
 設立 1996年7月
 従業員数 75名
※上記従業員数には、臨時従業員29名は含まれておりません。
 事業内容
 ・製薬企業向けの医薬営業支援サービス、マーケティング調査サービス
 ・医師・医療従事者向けの医療コンテンツサービス

■ 役員 (2009年6月22日現在)

代表取締役社長 高橋 功
 取締役 藤井 寛治
 取締役 大野 元泰
 監査役 藤原 啓三
 監査役 佐藤 敬幸
 監査役 浦野 雄三

※監査役 藤原啓三、浦野雄三の各氏は社外監査役です。

■ 沿革

1996年 7月 東京都中央区日本橋蛸殻町に、医療情報提供サービスを目的として株式会社ケアネットを設立。
 1998年 4月 郵政省(現 総務省)より委託放送業務の認定を受ける。
 7月 SKY PerfecTV!にて「ケアネットTV・メディカルCh.®」を開局。
 2000年 4月 医師・医療従事者向け会員制サイト「club C@reNet(クラブ・ケアネット)」をインターネット上に開設。
 10月 インターネットによるマーケティング調査「eリサーチ™」サービス開始。
 12月 医師会員数が1万人を超える。
 2001年 8月 本社を東京都文京区本郷に移転。
 11月 インターネットによる医薬営業支援システム「eディテリング®」サービス開始。
 2004年 7月 医師・医療従事者向け会員制サイト「club C@reNet」をリニューアルし、「CareNet.com(ケアネット・ドットコム)」をインターネット上に開設。
 「ケアネットTV・メディカルCh.®」の人気番組をDVD化した「ケアネットDVD」の販売開始。
 2005年 3月 財団法人日本情報処理開発協会より「プライバシーマーク」の付与認定を受ける。
 5月 医師会員数が5万人を超える。
 2006年 4月 「ケアネットDVD」販売数累計5万枚突破。
 2007年 4月 東京証券取引所マザーズに上場。
 5月 「ケアネットDVD」販売数累計10万枚突破。
 2008年 6月 「ケアネットDVD」販売数累計15万枚突破。
 2009年 2月 株式会社葦の会との業務提携を発表。
 ケアネット・イノベーション投資事業有限責任組合との資本提携を発表。

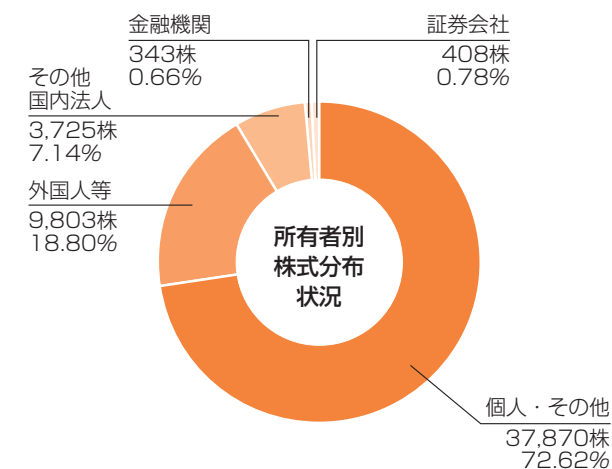
■ 株式の状況

発行可能株式総数 200,000株
 発行済株式の総数 52,149株
 株主数 3,138名

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
ケアネット・イノベーション投資事業有限責任組合	10,766	20.64
ジャパン ビートゥービー エルエルシー	4,800	9.20
パーシングディヴィジョン オブ ドナルドソンラフキン アンド ジェンレット エスイーシー コーポレーション	3,400	6.51
リープレック デービットアéron	1,259	2.41
大野 元 泰	1,194	2.28
京セラ株式会社	1,115	2.13
詫摩 直也	874	1.67
藤井 寛治	728	1.39
KAWANISHI TORU	720	1.38
秦 充洋	650	1.24

■ 株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 3月31日
 期末配当の基準日 3月31日
 1単元の株式数 1株
 株主名簿管理人
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 電話0120-232-711(フリーダイヤル)
 公告方法 電子公告とし、当社ホームページ
 (http://www.carenet.co.jp)に掲載いた
 します。ただし、事故その他やむを得
 ない事由によって電子公告による公告を
 することができない場合の公告方法は、
 日本経済新聞に掲載する方法とします。
 証券コード 2150
 証券取引所 東証マザーズ